

鳥取県の経済動向

鳥取県企画部統計課 (平成23年8月1日公表)

<http://www.pref.tottori.jp/toukei/>

●需要面

大型小売店販売額(店舗調整後)は前年を下回ったが、ホームセンター・家電量販店販売額は上回った。(5月) 新設住宅着工戸数、用途別着工建築物工事金額は前年を上回ったが、乗用車新車新規登録台数、公共工事請負金額は前年を下回った。(6月)

●産業面

鉱工業生産指数は、季節調整済指数が前月を下回り、原指数も前年を下回った。(5月)

●雇用面

きまって支給する給与、所定外労働時間ともに前年を上回った。(5月)

求人倍率は、新規は前月を上回り、有効は同水準となった。新規求人数は前年を上回った。(6月)

○需要面の動き

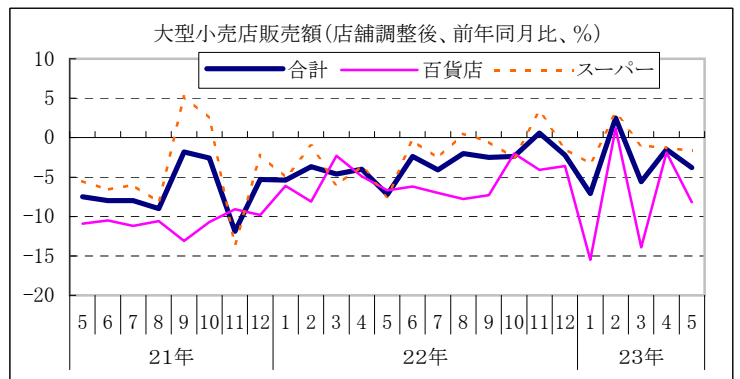
大型小売店販売額(5月)

全店舗の販売額は、49億5,100万円(前年同月比4.7%減)と3か月続けて前年を下回り、店舗調整後でも前年を下回った。

販売額及び前年同月比

	販売額(万円)	前年同月比	
合計	495,100	▲4.7	(▲3.8)
百貨店	150,100	▲8.2	(▲8.2)
スーパー	345,000	▲3.1	(▲1.7)

()内は店舗調整後の数値



ホームセンター・家電量販店販売額(5月)

34億4,500万円(前年同月比4.9%増)と2か月ぶりに前年を上回った。

乗用車新車新規登録台数(6月)

1,769台(前年同月比7.1%減)と10か月続いて前年を下回った。普通車、小型車の区分は前年を下回ったが、軽自動車の区分は9か月ぶりに前年を上回った。

新設住宅着工戸数(6月)

270戸(前年同月比98.5%増)と2か月ぶりに前年を上回った。持家系(前年同月比37.6%増)、貸家系(前年同月比344.4%増)ともに前年を上回った。

用途別着工建築物工事金額(6月)

22億4,300万円(前年同月比108.8%増)と2か月続けて前年を上回った。用途別では、製造業(前年同月比約40倍)等で前年を上回り、卸売業・小売業(前年同月比38.1%減)等で前年を下回った。

公共工事請負金額(6月)

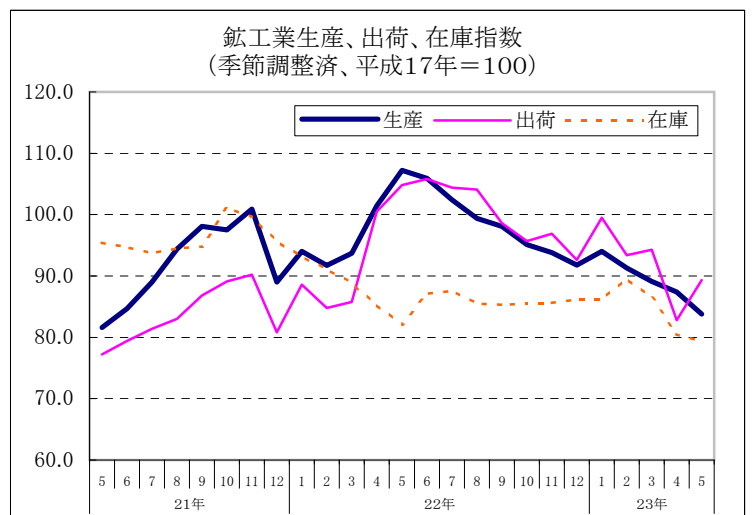
63億7,200万円(前年同月比34.6%減)と12か月続いて前年を下回った。発注者別の内訳では、国(前年同月比12.2%減)、県(前年同月比24.3%減)及び市町村(前年同月比64.9%減)等で前年を下回った。

○産業面の動き

鉱工業指数(5月)

生産指数(季節調整済)は83.8(前月比4.1%低下)と4か月連続の低下となり、原指数も77.2(前年同月比19.8%低下)と4か月連続の低下となった。

内訳を前月比で見ると、食料品・たばこが4.8%上昇となり2か月ぶりの上昇、電子部品・デバイスが11.1%上昇となり3か月ぶりの上昇、電気機械が2.1%低下となり2か月連続の低下、一般機械が7.9%低下となり2か月ぶりの低下となった。在庫指数(季節調整済)は79.3と前月比1.5%低下した。



大口需要電力実績(5月)

121,354千kwh(前年同月比24.2%増)と8か月ぶりに前年を上回った。鉱工業用の大口需要電力を主要4区分で見ると、パルプ・紙及びその他の製造の区分で前年を上回ったが、それ以外の区分では前年を下回った。

青果物卸売量(6月、鳥取市場)

野菜が1,436t(前年同月比8.3%減)と6か月ぶりに前年を下回り、果実は814t(前年同月比7.0%減)と2か月続いて前年を下回った。

漁獲量(6月、境港)

12,141t(前年同月比85.1%増)と6か月続けて前年を上回った。

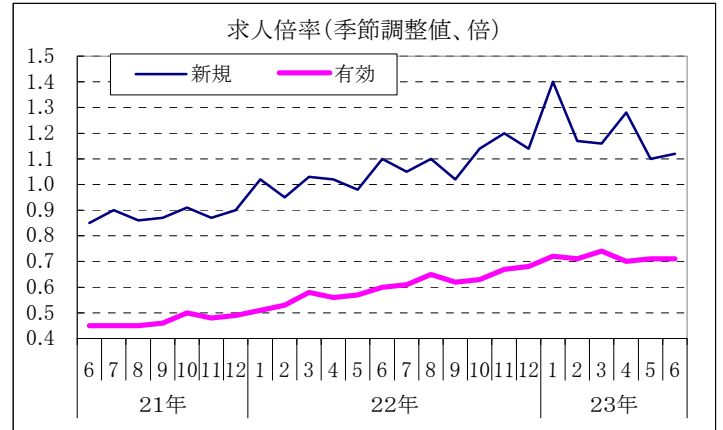
○雇用・金融面の動き

新規求人倍率(6月)

1.12倍(前月差0.02ポイント上昇、前年同月差0.02ポイント上昇)であった。なお、新規求人数は、3,601人(前年同月比3.7%増)と11か月続いて前年を上回った。

有効求人倍率(6月)

0.71倍(前月と同水準、前年同月差0.11ポイント上昇)となっており、6か月続けて0.7倍台となっている。



現金給与総額(5月)

239,568円(前年同月比0.5%減)と2か月続けて前年を下回った。そのうち、きまって支給する給与は、238,437円(前年同月比0.6%増)で2か月ぶりに前年を上回った。

所定外労働時間(5月)

7.4時間(前年同月比1.4%増)と18か月続いて前年を上回った。ただし、製造業は前年同月比6.6%減となった。

預金・貸出金残高(5月末)

預金残高は、2兆484億円(前年同月比3.2%増)と29か月続いて前年を上回り、貸出金残高は、1兆1,291億円(前年同月比1.6%減)と3か月連続して前年を下回った。

○参考

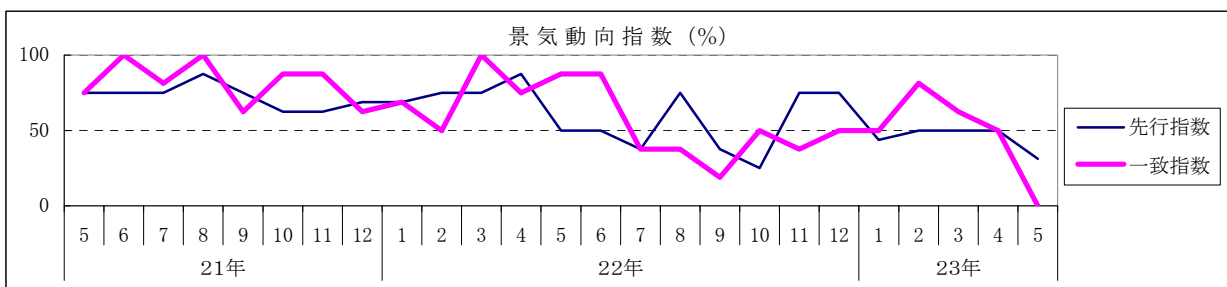
鳥取県景気動向指数(5月)

先行指数31.3%、一致指数0.0%、遅行指数40.0%となった。

先行指数は4か月ぶりに50%未満となった。

一致指数は6か月ぶりに50%未満となった。

遅行指数は3か月ぶりに50%未満となった。



企業倒産(6月)

件数は皆無で前年に比べて1件減少(前年同月比100.0%減)となり、負債総額は3億6,000万円減少(前年同月比100.0%減)した。

消費者物価指数(6月、鳥取市、総合、平成17年=100)

99.1となり、前月比(0.1%)は低下、前年同月比(0.3%)は上昇となった。

鳥取県の推計人口(7月1日現在)

584,860人で、前月と比べて131人(0.02%)減少し、前年同月と比べて3,248人(0.55%)減少した。

鳥取県企業経営者見通し調査(平成23年5月調査)

平成23年4~6月期は、平成23年1~3月期に比べると、景気、売上高及び経常利益のいずれもが不調となっている。

平成23年7~9月期は、平成23年4~6月期に比べると、景気が横ばい、売上高がやや好調、経常利益がやや不調となる見通しとなっている。